

第2回連絡会での主なご意見

参加者の皆様から、多様なご意見をいただきました！

高島平の変わらないまちの魅力

高島平は穏やかでとても住みやすいまち

高島平は緑が多くて気持ちがいい
プロムナードは高島平の魅力の一つ

都心への交通利便性もいい

現在のまちに感じていること

愛着がある地域であるのだが、
建物の老朽化や高齢化が進んでいる
高齢者のひとり住まいも多くなってきた

地域包括支援センターの利用時など
地域内であっても離れた場所へは
アクセスしづらい

商店がほとんどないエリアがあり、
バスに乗って高島平まで行っている

春の新河岸川の桜がきれいで、そんな
豊かな緑や良好な景観を残してほしい

豊かな環境でまちの人たちが散歩したり
おしゃべりしたりするまちにしたい

緑豊かな環境で過ごしたい。赤塚公園の
ような公園が3つくらいあるといい

まちのシンボルとしての
ランドマークがあった方がいい

地域に活かせるコミュニティビジネス等で、
高島平の人たちが潤うまちになるといい

曜日によって使い方を変える
日替わり多目的広場をつかってほしい

「交流核」の形成について

7つの目標に優先順位をつけたほうがいい

内容が抽象的なので具体的な計画を示してほしい

「災害に強く安全なまち」を考える
うえで、赤塚公園は欠かせない

交流核には劇場のような
みんなが行きたくなる施設がほしい

交流核を形成したら、
効果が周辺に波及するようにしてほしい

交流核を中心に、高島平のまちを巡る
コミュニティバスなどがほしい

これからの高島平

地域らしさを大事にしたい

若い人が戻ってくるような魅力的なまちに
したい。また、高齢者が安心してられる
住みやすいまちでありたい

多様な人々が交流できるまちにしてほしい

駅前がもう少し華やかになって、
賑わう場所になってほしい

駅前に家族で買物や休憩ができる場所、
おしゃれカフェなどがあるといい

地下鉄の高架下が空いているので
土地を有効活用してほしい

高島平駅北側には地域に根付いた商店が
多く、それを考慮して検討を進めてほしい

多様な人が楽しく交流できる場所がほしい
広場や商業・イベント施設、共用キッチンなど

高島平地域 まちづくりのお知らせ(かわら版)



まちづくり連絡会について

まちづくりについて情報共有や意見交換を行っていきます！

高島平地域のめざす将来像の実現に向けたまちづくりのあり方や具体化方策について、板橋区及びUR都市機構が、地域の皆様と情報共有や意見交換をすることを目的に設置いたしました。

●検討内容

- ・まちづくりの起点となる重点地区と交流核形成の適切なあり方
- ・地区計画策定に関すること
- ・情報周知の方法に関すること など

●構成

- ・高島平地域の町会長・自治会長
- ・高島平三丁目分譲団地の各管理組合の理事長
- ・町会長・自治会長から推薦された方
- ・公募により選任された方

連絡会開催報告

第2回まちづくり連絡会を開催しました！

日時：令和4年9月20日(火) 午後7時～午後8時30分

場所：高島平区民館ホール(高島平3-12-28)

参加者：26名

第2回連絡会では、板橋区及びUR都市機構から、「交流核形成まちづくりプランについて(構成案・進め方・目標)」の説明、「まちづくりを実現していくための手法(地区計画とは)」の紹介をしたうえで、「高島平の魅力・課題、将来像」や「交流核のあり方」などについて意見交換を行いました。

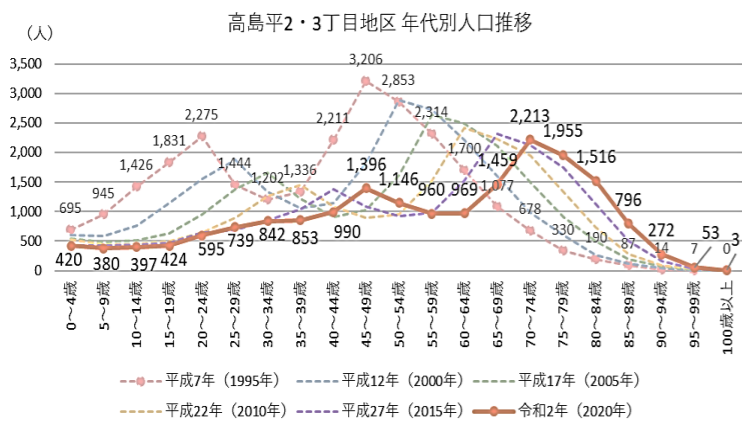


連絡会の様子

第2回連絡会での板橋区・UR都市機構からの説明内容 交流核形成まちづくりプランなどについてご説明しました。

交流核形成まちづくりプランについて

●まちのルーツとこれまでの50年



●まちづくりの進め方

生活の継続性や居住の安定に配慮しながら、**段階的に**進めていくまちづくり

時代の変化や人々のニーズに合わせて、**柔軟に**対応していくまちづくり

あらゆる主体が参画し連携しながら、**共創して**いくまちづくり

●まちづくりの目標(案)

・まちの将来像を実現するための、交流核形成まちづくりの目標(案)を検討しています。

7つの目標

- 目標1 ともに子供や家族をはぐくむまち
- 目標2 健康に長生きできるまち
- 目標3 人々がつながり活気に満ちたまち
- 目標4 新たな価値を共創するまち
- 目標5 快適に移動できる便利なまち
- 目標6 災害に強く安全なまち
- 目標7 自然豊かで地球に優しいまち

目標1 ともに子供や家族をはぐくむまち

多様なライフスタイルに対応した居住環境が整い、子育て世代への支援機能が充実した、子育てしやすいまち



子育て支援施設の充実化

目標2 健康に長生きできるまち

健康づくりの場や医療や福祉の連携が充実し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまち



板橋区版AIPの深化・推進

目標3 人々がつながり活気に満ちたまち

高島平の玄関口にふさわしい「にぎわい空間」が形成され、様々な活動や地域内外の交流が生まれているまち



活動や交流を喚起する場の創出

目標4 新たな価値を共創するまち

新たな価値を切り拓いてきたルーツを継承し、多様な主体が連携して新たな価値や魅力を創造しているまち



多様な主体が活動できる拠点の形成

目標5 快適に移動できる便利なまち

地域全体で、徒歩や自転車で移動しやすい環境が整い、誰もが快適に移動しやすい空間が形成されたまち



歩行者ネットワークの形成

目標6 災害に強く安全なまち

日常的には交流・にぎわいの場として活用され、災害時には安全に避難できる拠点として活用できる空間があるまち



災害時にも対応できる公共空間の整備

目標7 自然豊かで地球に優しいまち

地域の特長である豊かな緑を身近に感じながら、多様な活動に活用できる広場や緑地空間が広がり、環境に配慮した生活が送れるまち



再生可能エネルギー導入支援

●まちづくりを実現していくための手法 ～「地区計画」について～

- ✓ 地区の目指すべき将来像や建築物の建て方などのルールを定められます
- ✓ 建築物の新築等の際には、定められたルールに適合させる必要があります
- ✓ 段階的に整備が進むことで、目標とするまちづくりの実現を図ることができます

<地区計画で定められることの例>

■地区施設について



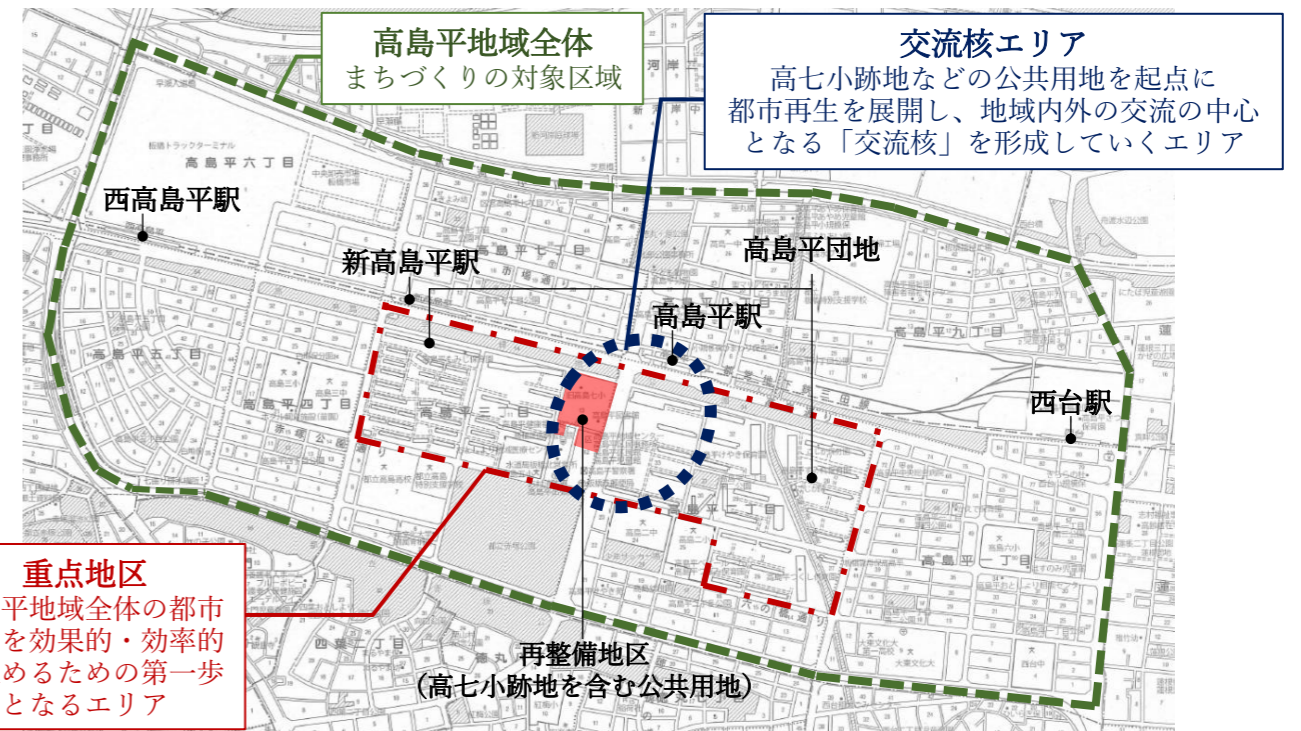
■建築物等について



(図は、全国地区計画推進協議会発行「地区計画」(2015年8月)より抜粋)

まちづくりの対象区域

令和4年度から5年度にかけて、板橋区とUR都市機構が共同で「交流核」の形成に向けたまちづくりの展開を検討していきます！



まちづくり連絡会の開催状況

